



それで頭と身体
拭いたら
さっきの洗浄の
姿勢に戻れ



そのまま
待機だ

身体に
問題は…

ないな

調教に
支障は無し
…と

見られてる恥ずかしさと
もたもたして怒られる焦りで
髪を拭いたくらいで
身体はちゃんと拭けなかった…。

よし
洗浄は
終わりだ

手枷を繋げるから
後ろを向いて
後ろ手で待機しろ

後ろを向いて手を後ろに揃える。
春先の少し冷たい風が
濡れた裸体を撫で全身が震えだす。





これから
手と足の
枷を外すが

手は後ろに
したまま
そのままの姿勢で
待機だぞ

わかったな

びくっ

かちゃ

かちゃ

ぐに
ぐに

ぐに
ぐに

ぐに
ぐに

からがら

ぐに
ぐに

びくっ

ふい
ふい

ふい
ふい

ふい
ふい

びくっ
びくっ

ずっと付けられていた枷が外されて
久しぶりに手足が軽くなる。
でも動かすことは許されない。

ふん
ふん

ふん

ふん

ふん
ふん

から
から



それとお前には
特別に教えてやるが

よし
身体を拭いていくが
もし抵抗するようなら
自然乾燥するまで
そのままそこに
いてもらうからな

公有物の身体を
拭いているのは
しっかり身体に触れながら
拭いてやることで
お前らの体調や傷の有無を
確認する重要な行為だからだ

これまでの生活なら
ありえないことかも
しれないが
ここでは公有物として
管理される物である以上

胸や股間を触られても
抵抗はせず感謝して
受け入れるように



びびり

このまま
放置されるの……

ふい

ふい

ふい

ふい

ふい

ふい

感謝なんてできるわけ……。

ほら
動くなよ



ビクッ

ブルブル

ガクガク

知らない人に胸揉まれてる…。
逃げたい…手で防ぎたい…。
乳首揺らさないで…。

120025

胸ばっかり
しつこい……

ん……

ごり

チャッ

チャッ

もにゃ

ごり
ビクッ

よしよし

胸が終わった後は
お腹が拭かれ
その手は少しづつ
下がってくる。

が
が

ふき

ゴッ

ゴッ

ふき

ビクッ

このあたりも
しつかり拭いて

次は……



エ



ブルブル

ふいふい

ふいふい

ふいふい

ヒキキ
ヒキキ

カカカカ

ブルブル

ニニニニ

ガタガタ

枷を付けたら
戻るぞ

これから調教が
始まるからな

頑張れよ

ビクッ

カチャ

カチャ

ガザ

ブル

かしっ

ぐいっ

ブル

から

ブル

大きくてごつごつしている手で少し雑に掴まれる。力を入れてもビクともしない職員の方にどうにもできない無力感をひしひしと感じる。再び枷がはめられ枷同士を鎖で繋がれる。

よし
行くぞ

ビ
ク

うう...

ブル

ブル

から
から

ブル
ブル

ぐい

ジャウ

ブル

ブル

されることがただ震えて待つだけの抵抗できない姿に戻る。
洗浄は終わったけどこれが終わればまた次の苦難がやってくる。

いつそ暴れてしまえたらどんなに楽だろう。
罰が怖いっていうのもあるけど結局のところ
所詮私はこの期に及んでも大それたことができない
きない小心者なんだ。
だから物にされても大した抵抗ができない。
なんとなく流されてここまで生きてきた自分
への罰なのかもしれない。



公有物の洗浄

公有物の洗浄は基本的に職員による手洗いで、公有物自ら洗わせたり拭かせたりすることもあるが、職員は公有物の身体に異変がないか、間近で触って確認できる場でもあるので傷の有無や体調のチェックなども行っている。

公有物は全てを管理される存在であり、奉仕の際の抵抗感をなくしていくためでもあるので、積極的に身体を触られることにも慣れていかなければいけない。

予備調教完了までには触られることに感謝できるまでにならないといけないため、職員はお尻や胸や股間などを頻繁に触りそれが当たり前になれるよう躡けていく。

ただ公有物にとっては、今までの生活なら他人に裸体を触られ洗われ拭かれるということは考えられないことでもあるため、始めの頃は言うことが聞けなかったり抵抗したりする公有物も少なくないが、鞭や電撃やその場で放置するなどの罰を与え、大人しくできれば褒めすぎない程度に認めてあげることで、飴と鞭のような形で少しずつ慣れていけるように、公有物それぞれの性格などを見極めながら調教を行っている。

一流の飼育管理員は担当している公有物であれば、少し触っただけでその日のコンディションが分かると言われている。



